

学校関係者評価

※ 評価Ⅲの基準

4:よく取り組んでおり、成果が大きい
2:取り組んでいるが成果が十分でない

3:熱心に取り組んでおり、今後が期待できる
1:取組が不十分である

学 校 関 係 者 意 見 等		評価Ⅲ
1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む	・全員参加型の授業の工夫がなされており、クラス全員が共通理解し、授業内容が進められ子どもたちが主体的に取り組む姿勢が見られた。 ・コロナ禍において、体育大会や校外学習等工夫をしながら実施してくださったと思います。教室以外での学習の場が少なくなる中、児童にとって貴重な体験になったと思います。 ・授業では、プレゼンテーションソフトやパソコンを用いてわかりやすいように工夫されていると感じた。 ・コロナ禍において、リモート授業の準備等は評価できるが、少ししか授業が見られなかったように感じるもう少し使用する機会を増やして欲しい。 ・コロナ禍で充実したしどう体制を構築することは、大変難しかったと思う。	3.2
2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る	・教職員は児童のことを常に考えてくださっていると感じています。友だちとのトラブルなどがあった時も、丁寧に児童の心に寄り添って関わってくださっていると感じています。 ・道徳教育に力を入れられていて、人を思いやる心が育てられていると思います。 ・道徳教育をもう少し充実させて欲しい。いじめまでとはいかないが、子ども同士のトラブルが多いように感じる。 ・児童保護者の不安に対し、児童に寄り添った取り組みが評価できます。 ・教職員の方々が、児童の細かな変化にもしっかり気づいてくださり、保護者との連携もしっかりとれていたと思います。先生が保護者といっそに問題解決に取り組んでくださり、感謝しています。	3.3
3 家庭・地域・学校の連携を深め、活力に満ちた学校園づくりに取り組む	・集団登校によって安全に登校できていると思います。コロナの状況等ミマモルメで発信されているので、安心・安全に繋がっている。しかし、地区役員は集団登校の際、どの学年が学校閉鎖になっているかわからず、集団登校班の人数把握が困難であった。該当する学年・クラスだけでなく、全学年にお知らせすることを是非検討してもらいたい。 ・保護者である私たちが知らないところで地域の方々が様々な形で学校のために関わってくださっていることをPTA役員になって初めて知りました。 ・地域との連携が進んでいると思います。また、学校からの発信も努力されていると思います。 ・学校だよりなどを見ると、コロナ禍でも対策をとりながら積極的に行事が行われていることを知り、良かったと思います。 ・校区内の大人の方々が、温かく児童を見守り、学校や地域との連携を深めることができていたと思います。 ・コロナ禍で行事等ができなくて、コミュニケーションが不足していると感じる。地域と連携をとる創意工夫が必要である。 ・学校は地域との強い絆とパイプがあり、児童だけに限らず地域全体の安心・安全へと繋がっていると思う。いざという時に対応できる環境が整っており、子どもたちのために快く大人が動き温かさをを感じる。	3.6
4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る	・避難訓練、防犯訓練で自分の身の守り方が学べていると思います。また「1.17を忘れない」など災害についても考える機会があると思います。 ・一年に1回でもいいので、引き渡し訓練があっても良いのではないかと。 ・これまでの取り組みに加え、総合的な防災意識を高めていってほしい。 ・R4年1月と2月は児童の中でコロナ感染者が増え、教職員の方々の業務大変だったと思います。保護者に対しては、ミマモルメを通じて適宜情報提供がなされていたので、保護者として自分の子どもを安心して通わせることができました。 ・コロナ感染症に関しての注意がおこなわれており、臨時休業などは他校と比べて比較的少ないように感じた。 ・「1.17」の避難訓練の際、真面目に取り組まない児童に命の大切さ、訓練だからこそ真剣に取り組まないといけないことを伝えていたと子どもから聞きました。	3.5
教育目標	・子どもたちが主体的に取り組めるよう、職員一人一人が相違工夫をし、子どもたちの興味・関心・意欲を高めていこうに期待しています。 ・昔に比べて学ぶスピードが速く、量が多くなり、学習が理解できる子に合わせて授業するのではなく、わからない子も理解でき、学ぶ楽しさをどの子にも味わって欲しいと思います。 ・リモート学習がまだまだ浸透していないと感じました。保護者からリモート学習の希望を学校へ伝えた家庭はリモートで学習を受けることができた聞いた。学校側からリモート学習についてのアナウンスがあればよかったのではないかと。	3.5
研究テーマ	・様々な情報がまん延するなか、自ら判断し、考え、決断する力が必要な時代です。その為には基盤となるものがなければすぐにブレて倒れてしまうように思う。国語は一番大きく影響する物の一つであると思うので、今後も続けて欲しい。 ・職員の異動が多い中、特に若手教員の資質向上がさらに望まれます。	3.3
評価項目 (A:優れている B:適切である C:おおむね適切である D:要改善)		評価Ⅳ
アンケート等、自己評価の根拠となる資料は適切か		C
自己評価の結果の内容は適切か		B
自己評価の結果を踏まえた今後の改善策は適切か		B